

			4	3	2	1	評価なし	令和3年	令和2年	増減	記述欄		
経営活動の方針	1 経営参加と協働	1	学校は、教職員一人一人が、専門職としての職責や役割を果たし、主体的な経営参画のもと、教育活動と経営活動を一体化させた学校運営を進めることができたか(進めようとしているか)。	17	48	2	0	1	3.27	3.03	↑ 0.24	・学部や人によって、仕事が多くて夜遅くまで仕事をしなければならない人と、時間的に余裕がある人との差が大きいと感じる。教師間の「配慮」だけでは解決が難しいので、人事の時点で調整できればと思います。(今も行っていると思うのですが) ・学校経営全体のあり方として、先の見据え方が不十分だと考えます。①そもそも生トたちは、卒業後に地域の場へと出向きそこで行われている活動に参加するチャンスはないのか？②そもそも生トたちは、障害のある人たちを対象にした場―事業所・病院―にしか居場所はないのか？③もしも卒業後に見据える「社会参加」は、障害がある人もない人もいるインクルーシブな場への参加であるとするなら、そこを見据え学校経営のあり方を想像することはできないのか？こうした「答」を自分たちで模索して切り開/拓/啓いて いくような問を「がち」で考えてほしいです。その試金石になる事柄を函養はすでに抱えています。現在、明らかに函養以外には教育を保障することのできない子どもが、教育を保障されずそのままになっています。学校としてできることは沢山あります。まずは、ひとりの子どもの教育を保障するということに、学校の力を集中するよう、学校長を中心に協働しましょう！	
		2	学校は、教育公務員としての自覚と自律心を高くもち、児童生徒の人権と尊厳に配慮したかわりを大事にし、より適切な教育環境を整えることができたか(整えようとしているか)。	30	36	1	0	1					3.48
		3	学校は、各組織・部門が有機的に連携し、円滑で効果的な校務運営の改善を図ることができたか(図ろうとしているか)。	18	49	0	0	1	3.32	3.04	↑ 0.28		
			24.3%	66.2%	0.0%	0.0%	1.4%						
		2 研修・育成	4	学校は、肢体不自由教育の専門性の向上、各職種の専門性の向上を図るため、研修の充実を推進することができたか(推進しようとしているか)。	21	40	0	0	7	3.40	3.03	↑ 0.37	・研修の案内はいただけるので、とても良いと思う。 ・防災に関連したことはほぼできていると思うが、昨年からの感染症対策、特に清掃等については一部分掌の負担が大きいに感じる。
			28.4%	54.1%	0.0%	0.0%	9.5%						
	3 連携・支援	5	学校は、教育活動の効果的かつ適時的な情報発信を工夫し、保護者、地域、関係機関との相互連携や協力体制づくりなどを進めることができたか(進めようとしているか)。	19	42	1	0	6	3.34	3.12	↑ 0.22	・コロナの影響がある。	
			25.7%	56.8%	1.4%	0.0%	8.1%						
		6	学校は、地域におけるセンター的機能を発揮するなど、地域から信頼され、地域と交わりある学校づくりを進めることができたか(進めようとしているか)。	26	36	1	0	5	3.45	3.17	↑ 0.28	・コロナの影響がある。Zoom等を使ってできるだけ努力をしているが、相手側の環境が整わないとできない。	
			35.1%	48.6%	1.4%	0.0%	6.8%						
	4 教育環境の整備	7	学校は、危機管理意識と安全管理体制を充実させ、安定かつ安心な教育環境の整備に取り組むことができたか(取り組もうとしているか)。	40	26	1	0	1	3.64	3.12	↑ 0.52	・教育活動や設備については対策が徹底していた。一方、執務環境では意識が緩んできている印象があった(会話の声の大きさなど気になることが多かった。各自で気をつけていきたい)	
		54.1%	35.1%	1.4%	0.0%	1.4%							
		8	学校は、経営活動及び教育活動双方において、「わかりやすさ」「伝わりやすさ」を重視し、必要な合理的配慮を充実させることができたか(充実させようとしているか)。	19	43	1	0	5	3.34	3.06	↑ 0.28	・コロナの影響がある。保護者に対して懇談や参観日の実施ができなかった。	
25.7%		58.1%	1.4%	0.0%	6.8%								
9		学校は、円滑な教育活動推進のために、より効果的・効率的な財務運営を進めることができたか(進めようとしているか)。	22	42	0	0	4	3.40	3.10	↑ 0.30			
		29.7%	56.8%	0.0%	0.0%	5.4%							
10	学校は、教務・舎務・事務の円滑な校務連携を図り、会議や文書作成等の効率化、業務の連動などについて改善・工夫を進めることができたか(進めようとしているか)。	24	40	0	0	4	3.43	3.15	↑ 0.28	・舎監、学担との連絡を密に連携し合い、協働している。			
32.4%	54.1%	0.0%	0.0%	5.4%									
教育活動の方針	1 児童生徒の将来を見据えた教育活動の展開	11	学校は、子ども一人一人の将来を見据え、人とかかわる力や学ぶ力を育むための教育活動の充実が図られたか(図ろうとしているか)。	24	39	1	0	4	3.41	3.13	↑ 0.28	・感染症対策により感染症の流行以前と比べると学習環境の制限による教育内容の縮小、学校行事の簡素化等教育活動はバランスを欠いている。ただ、対策を行う中では最大限取り組んでいるのでそれを加味すると評価は3。これを機に各教科等の学習や学校行事等を見直そうという動きになっているのは良いことと思う。	
		32.4%	52.7%	1.4%	0.0%	5.4%							
	12	学校は、個々の教育的ニーズに応じて、個別の指導計画及び個別の教育支援計画を積極的に活用し、卒業後の自立や社会参加につながる確かな力を身に付けさせるよう取り組むことができたか(取り組もうとしているか)。	20	39	1	0	8	3.37	3.09	↑ 0.28	・教育支援計画の活用はできているのだろうか？教育支援計画は使いやすい物になっているのだろうか？ ・支援計画、指導計画を基に協力し合い理解に努めている。		
		27.0%	52.7%	1.4%	0.0%	10.8%							
	2 児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実	13	学校は、自発性や主体性を育むため、指導形態や指導体制組織を効果的に活用し、個の学びと集団での学びをバランスよく進めることができたか(進めようとしているか)。	24	37	2	0	5	3.40	3.09	↑ 0.31	・高等部における指導形態について、合わせた指導中心の教育課程であることを踏まえると、グループと学級で扱う指導内容の調整がなされると良い。(そのためには、各生徒の指導内容一覧を早い時期に作成し、協議する場をつくる必要がある) ・感染症対策により感染症の流行以前と比べると学習環境の制限による教育内容の縮小、学校行事の簡素化等学びのバランスを欠いている。ただ、対策を行う中では最大限取り組んでいるのでそれを加味すると評価は3	
		32.4%	50.0%	2.7%	0.0%	6.8%							
	3 新学習指導要領への移行をふまえた教育課程の確実な実施と評価の推進	14	学校は、カリキュラム・マネジメントをツールとし、児童生徒の学びの連続性を意図した教育課程の充実と改善を図ることができたか(図ろうとしているか)。	14	43	1	0	10	3.28	3.01	↑ 0.27	・学びの連続性について、学校全体として各児童生徒の教科指導内容表を作成し、引き継ぎに加えることが必要だと思う。 ・個別の指導計画の蓄積や引き継ぎの設定等システムとしては必要なものはあると思うので、自立活動などの個別の指導に関しては引き継がれていると思う。一方、致し方ないことだが集団の特性によって学習内容がその年度で違いがでてくるようになる教科もあると思う。これは個の学習の今までの記録からバージョンアップを図るしかない。個の目標を集めて年形を立てるのが筋と思うが、すべての子の成長や特性に合わせた指導内容を年度当初に年間計画に盛り込むのは正直難しい。授業を進めながら単元や題材の中で指導内容を随時工夫していくのがベターではないか。	
			18.9%	58.1%	1.4%	0.0%	13.5%						
		15	学校は、発達段階と一人一人の学びの状況を的確にとらえ、「自立活動の指導」の改善・充実を図ることができたか(図ろうとしているか)。	20	38	1	0	9	3.38	3.12	↑ 0.26	前年度の研究で扱った自立活動の指導内容を、複数の視点で見るシートなどの取組を、固定のプロセスとして組み込む方がよいと思う。	
			27.0%	51.4%	1.4%	0.0%	12.2%						
	16	学校は、地域資源を活用した学習活動や交流及び共同学習を進めるとともに、児童生徒の社会参加の取組を充実させることができたか(充実させようとしているか)。	15	40	2	0	11	3.29	2.81	↑ 0.48	・感染症対策により地域資源の活用に制限がある。ただ、対策を行う中では、最大限取り組んでいるのでそれを加味すると評価は3 ・コロナの影響がある。		
		20.3%	54.1%	2.7%	0.0%	14.9%							
	4 一人一人のキャリア発達を踏まえた進路指導の推進	17	学校は、キャリア発達をふまえ、各学部段階における進路学習・進路支援を充実させることができたか(充実させようとしているか)。	17	40	1	0	10	3.33	3.04	↑ 0.29		
23.0%	54.1%	1.4%	0.0%	13.5%									
5 児童生徒の発達段階・年齢段階に即した生徒指導の推進	18	学校は、発達段階及び生活段階に即した健康教育、安全教育、防災教育、道徳教育を進めるとともに、人権尊重意識を育てる指導を充実させることができたか(充実させようとしているか)。	26	36	0	0	6	3.48	3.12	↑ 0.36			
35.1%	48.6%	0.0%	0.0%	8.1%									
6 学校生活を支える体育・健康に関する指導の推進	19	学校は、教務・舎務及び専門職が連携して児童生徒の健康管理を進め、医療的ケアへの対応、食に関する指導の充実など、健康の保持・増進を図ることができたか(図ろうとしているか)。	35	27	0	0	6	3.62	3.15	↑ 0.47			
		47.3%	36.5%	0.0%	0.0%	8.1%							
7 ICT教育の推進	20	学校は、ICT機器の効果的活用による指導の充実や教育活動の拡大を図ることができたか(図ろうとしているか)。	24	36	0	0	8	3.46	3.12	↑ 0.34	ICT機器を効果的に活用しようとする意識が高まりつつあると思います。		
		32.4%	48.6%	0.0%	0.0%	10.8%							